

令和5年1月20日

保護者 様

野田市立宮崎小学校
校長 小川 恵美

令和4年度 第2回学校評価の結果について

12月に第2回学校評価アンケートをグーグルフォームにて行いました。学校評価は児童の教育活動の向上及び保護者や地域との共通理解を図り、連携・協力して学校の教育力の向上を目的としています。各評価項目の結果を分析することで、具体的な改善方法を考え実行することが、学校の教育力の向上につながると考えています。

今回は、令和4年度の第1回目と比較し、「1のはい」「2のどちらかというとはい」が第1回と比較して大幅に向上しているもの、また、90パーセントに達してしているものを「肯定的な考え」、逆に大幅に減少しているものや80パーセントを下回るものを「今後改善を考えていかなければならない点」と見ていただきたいと思います。

児童・保護者ともに総合して評価すると、全体的に数値が向上していることが分かります。学校生活が充実してきた評価と考え、学校としてもうれしい限りです。

1 回答率

児童427名回答（92.2%） 保護者246名（53.1%）

児童は学校でクロームブックを活用して行いました。その期間に欠席等でできなかった児童がいたため、この数字となっています。

保護者の回答率が前回よりも低かったです。要因として、グーグルフォームのQRコードからのアンケートの、周知が足りなかったことがあげられます。さらに年に2回というアンケートの必要感の低さも考えさせられます。この結果を学年経営にも生かしているため、本校は、学年ごとの集計をしています。しかし兄弟が複数いる家庭には無理を言って複数回入力いただいているので大変だったかもしれません。学校全体の評価を分析していくうえで、次年度のやり方を考えてみます。次年度の学校評価のやり方を検討する時期と考えています。

2 児童のアンケート結果について

(1) 向上した項目 ①外部や地域の人材の学習 ②クロームブック活用

- ・令和4年度前期と比較すると16項目で肯定的な割合であり、4項目が改善項目となっています。
- ・番号9「学校で外部や地域の人材の学習はありますか。」は、12%も伸びました。高学年を中心に、外部の専門的な講師を迎えての授業がいくつか開催されるようになったことからでしょうか。児童はいつもと違う環境に、緊張しながらも真剣に話を聞く態度が素晴らしかったです。
- ・番号19「クロームブックを活用した授業を行いますか。」は5%向上しました。高学年は、効果的な活用を目指し、授業のツールとして活用している姿がありました。低学年も、eライブラリの活用も増えてきています。
- ・番号17「学校で火事や地震不審者がいたときどのように行動するとよいか知っていますか。」97%、

番号12「先生の話や友達の発表をきちんと聞いていますか。」96%と高ポイントでした。

(2) 課題のある項目 ①学習の見直し ②読書 ③外遊び ④相談できるか

- ・番号3「家でテストの見直しや学校の授業の復習をしていますか」今年度70%、番号10「毎日10分以上読書をしていますか」は、70%と第1回目より3~4%増えているもののまだ課題があるといえます。夏休みの1日10分読書や図書委員会の読書週間の取り組み、国語の授業をもとに関連した読書を行う等試行錯誤してきましたが、更にたくさんの児童が本を手取る仕掛けをしていきたいと考えます。学校の復習に関しては、課題意識をはっきりさせ、何が自分には必要なのかを考えて取り組むよう指導していきます。さらに「宮松賞」に向けて一つのきっかけとして、自ら課題を見つけ、課題を解決していく学習方法も身につけさせたいと考えています。
- ・番号4「自分から進んで元気に外遊びをしましたか」は第1回目より、1%アップではありますが。学校の生活目標や体育のなわとびへの取り組み等外遊びをさらに推奨していきます。
- ・番号14「困っているときや悩んでいるときに先生や友達に相談できますか。」は75%です。第1回目より4%アップしましたが、約1割の児童が相談できないと回答しているという課題ではあります。学級もあと3か月、担任や友達に気軽に相談できる学級・学年集団作りをしていきます。年末に行われた「学校生活アンケート」もきっかけとして担任だけではなく担任外や管理職も相談できる雰囲気を作っていきます。更に子どもたちに寄り添った指導に努めて参ります。

3 保護者のアンケート結果について

(1) 向上した項目 ①家での読書量 ②地域・外部人材を生かした取り組み ③学校行事

- ・令和4年度第1回と比較すると13項目が肯定的な項目で、21項目が前回より向上しています。
- ・向上している項目として、番号10「お子さんは家で本をよく読んでいますか。」50%ですが、17%も向上しました。国語の学習指導からの並行読書、夏休みからの1日10分読書の奨励や、委員会活動の読書週間の効果が表れたものと考えられます。
- ・番号9「学校は地域や外部の人材を生かした取り組みを行っていると思いますか。」89%、と第1回目より7%も向上しました。充実した教育を目指し、専門的な外部人材の授業を積極的に取り入れた表れと考えます。
- ・番号20「学校行事に満足していますか。」96%となりました。感染対策をしながら、修学旅行をはじめ、全ての校外学習を実行できたことが評価されます。
- ・番号5「学校はわかりやすい授業をしていると思いますか。」96%、番号8「お子さんの宿題について、教師はきちんと評価していると思いますか。」96%と高い評価にうれしく思います。職員もさらに力を発揮し、職務を全うしようとするエネルギーをいただきました。
- ・番号13「お子さんは学校のきまりを守ろうとしていますか。」99%と高く、ご家庭で学校生活についての話題を取り上げ、よくお話ししていただいているものと考えられます。ご協力に感謝いたします。
- ・番号22「学校は、学校日より、学年日より、ホームページなどで積極的に情報提供していると思いますか。」96%とさらに1ポイントを増やしました。児童・保護者の皆様に見ていただけることが大変

うれしく、学校の様子を知っていただけるようさらに努めて参ります。

(2) 課題のある項目 ① 外遊び ② 登下校の安全 ③ 読書

- ・番号4「お子さんは自分から進んで外遊びをしていますか」70%、前回よりも3%ダウンしました。コロナ禍の影響と考えます。今後も児童に外遊びの意義や面白さを教師側からも発信していきます。
- ・番号16「学校への登下校や学校生活での安全確保がされていると思いますか。」78%、と前回と同じポイントでした。宮崎小の学区は交通量も多いばかりではなく、狭い路地も多くあります。狭い道いっぱい広がっての下校の様子を指導したこともありました。幸い、昨年・今年と大きな交通事故はありません。引き続き指導してまいります。不審者に関しては、保護者の方や交通指導員の方々、下校時の地域の見守りの方々のおかげで1件もありませんでした。PTA 校外委員会のパトロールでは、危険な箇所等を報告してくださり、校外委員の文書を発行して呼びかけてくださいました。このような毎日の地道な見守りのご協力に大変感謝しております。
- ・番号10「お子さんは家で本（毎日10分以上）をよく読んでいますか」50%ですが、前回より17ポイント上昇です。※向上した項目に記載あり
- ・番号19「お子さんは家庭でクロームブックを活用して学習に取り組んでいますか」62%、前回より6%の向上です。冬休みに e ライブラリの課題を出しましたので、さらに向上しているものと考えます。しかし、クロームブックの毎日の持ち帰りの荷物の問題や、姿勢や目の疲れといった健康上の心配を上げる保護者の方もいました。ICT活用は、学習のツールとして必要なものです。より効果的な活用方法に向けて職員も研修を積み重ねていきます。

3 保護者のコメントより

多くのご意見ありがとうございます。全体に関わるもので、複数意見のあったものへの回答です。

(1) 良かった点（主なもの）

- ・先日、傷害事件が発生して犯人が捕まっていない時すぐにマチコミで連絡をしてくれて、下校時には先生が付き添ってくれていて本当に安心できましたし感謝しています。
- ・楽しく学校生活を送ることができたように感じました。一年生という小学校生活の大事な一年を順調に過ごすことができたのは、担任の先生をはじめ学校の職員の皆様のおかげです。体調が悪くなったときも丁寧に対応してくださりありがとうございました。
- ・毎週図書を借りて読んでいて、家にある本には限りがあるので新しい本、普段は読まない本を読むことができるのが良いです！
- ・先日下校中転んで擦りむいた子がいたのですが、周りの大人に助けを求める子、先生を呼びに行く泣いてるお友達を励ます子、皆んなで協力している姿を見ました。先生方のご指導があつての皆んなの行動なんだろうと思いました。
- ・子ども達が学校を好きになり楽しめるようなイベントや授業を提供していただき感謝しています。
- ・ホームページを通して宮松賞や、学校の生活が詳しくわかり、とても、助かります。ホームページに掲載されている言葉が、丁寧で生徒たちを見守ってくださっている様子が伝わってきます。読書にも、力を入れてくださっているお陰で、少しずつ読書をする時間が増えました。
- ・体調不良への理解があり、とても丁寧に対応して下さり感謝しています。無理せず授業に参加でき

る環境のお陰で、回復後スムーズに学校生活を送る事ができており、子供に寄り添った形での対応が行き届いており素晴らしいと思います。

- ・自由の中にも、きちんと決まりを守る事の大切さを教えられており、学校全体がのびのびして良い雰囲気がします。
- ・休み時間も遊んでくれたり先生は足が速いなど学校の話を楽しそうにしてくれます。先生を尊敬しているので、先生が言う事を守る努力をしているのが分かります。良い先生に出会えて感謝しています。
- ・マチコミ体調管理やグーグルフォームの利用が良い。
- ・子ども達が進んで挨拶をしてくれるので良いと思います。

(2) 改善点 (主なもの)

- ・今年のまつかぜマラソン当日 7時半の延期のお知らせは、遅すぎると感じます。
→当日開催を第一として走行可能かどうか(天候だけではなく校庭やコースの状態)を検討した結果です。
- ・落ち葉拾いの時に早く登校する旨、プリント等で連絡あったでしょうか?連絡帳に7時〇分登校とだけあり、子供の説明だけで少し困惑した。
→マチコミメール等で連絡していきます。(4年生児童の自主的な奉仕活動となります。学校も大変助かっています。ご協力お願いいたします。)
- ・朝の雨の日の玄関の対応は検討中とのことだったのですが、変化は見られませんでした。検討した結果そのままにすることになったのでしょうか。
→新しいすのこを職員が作成し、そこで上履きに履き替えるようにしています。
- ・一年生も Chrome を持ち帰れる機会がもう少しあると嬉しい様です
→できる限り持ち帰りを通常としていきます。反面、荷物の重さの問題や、紙ベースの連絡方法が良いとの意見もあります。文部科学省の通知より、ICT活用は、喫緊の課題で、使い慣れるから今後、効果的に活用が話されています。これから活用頻度が増すことが間違いありません。児童の方が使い慣れることは早いです。職員も研修を積み重ねています。保護者のご協力も必要です。よろしく願いいたします。
- ・部活動について。具体的な活動頻度が分からないこともあり、今年度は参加を見合わせました。活動への参加にあたっては、小学校のうちであれば親の見送り等の家庭の支援は不可欠でもあると思います。そういったことから、新年度の部活動の案内等で、朝の活動のため登校時間、放課後の活動による下校時間、夏休み期間などを含め年間を通じた活動の程度等、詳細を教えてくださいたいと思っています。
→部活動に入部する際に年間計画と登下校の時刻は記載されていますが、再度わかりやすく伝えるように検討します。
- ・通学路の安全が確保されていない。見回りもない。
→毎年通学路点検をしています。また、校外委員が「まつかぜパトロール」学年ごとに日程を調節し学年ごとに放課後のパトロールを行っています。危ないところがあれば、メモにして学校のお手紙BOXの中に届ける仕組みです。PTA活動でご協力いただいています。朝は、交通指導員の方が、危険な交差点に毎日立哨してくださっています。毎週月・火曜日の1年生の下校時刻に合わ

せて、自治会の皆様が立哨してくださっています。本当に、地域、保護者の方に守られて安全な登下校が成り立っています。何か気になることがあれば、学校にご連絡ください。

- ・朝登校するのが、遅い児童がいるのが気になります。先生も、忙しいかと思いますが、登校指導があっても良いかなあと。

→長期休業明けは職員が分担して登校指導しています。その他の日は、朝遅くに登校する児童についてきちんと把握し指導して参ります。

今年度2回の学校評価へのご協力ありがとうございました。次年度は同じ内容で行う予定です。児童対象の学習調査アンケートを2回行っているため、また1回と2回目の保護者の意見に著しい変化はないため、学校評価回数を1回にし（12月）ここから1年サイクルで検討していく方向で考えています。

この学校評価は、学校教育目標に向けての学校運営への意見をいただくものです。いただいた意見を大切に、児童の成長と笑顔のために、職員一同尽力して参ります。今後ともよろしく願いいたします。